

# 北海道みなとオアシス活性化協議会

日時：平成23年7月8日（金）15:00～16:30

場所：札幌第1合同庁舎 4F

北海道開発局防災対策本部室

## 議 事 次 第

1. 開会挨拶                      港湾空港部長                      栗田 悟
  
2. 議 事
  - (1) 協議会の設置について
  - (2) 北海道みなとオアシスの現状
  - (3) 北海道みなとオアシスにぎわいキャンペーンについて
  - (4) みなとオアシスの活性化に向けた取り組み

○北海道みなとオアシス活性化協議会 構成員名簿

オアシス名	所属	役職	氏名	出欠
みなとオアシス わかかい	稚内市 建設産業部港湾課	課長	柘田 紀行	○
	稚内みなとまちづくり懇談会	代表	横澤 輝樹	○
みなとオアシス 網走	網走市 水産港湾部港湾課	課長	酒井 博明	○
	(社)網走市観光協会	企画管理課長	浜名 みゆき	○
みなとオアシス 江差	江差町農林水産課	課長	福島 平	○
	(財)開陽丸青少年センター	オアシス事業推進員	菅沢 尚史	○
みなとオアシス 苫小牧	苫小牧港管理組合 企画振興課	課長	伊藤 龍一	×
	苫小牧港管理組合 計画課	課長	下館 隆一	×
	苫小牧港管理組合 企画振興課	振興係長	松原 敏行	○
みなとオアシス れぶん	礼文町産業課	課長	片川 正明	○
	香深漁業協同組合	専務理事	秋元真澄	○
北海道開発局 港湾空港部	港湾計画課	港湾企画官	遠藤 仁彦	○
	港湾計画課	港湾物流専門官	川俣 満	○
北海道開発局 函館開発建設部	築港課	港湾計画官	時田 恵生	○
北海道開発局 室蘭開発建設部	築港課	港湾計画官	下田 潤一	○
北海道開発局 網走開発建設部	築港課	港湾計画官	高橋 啓司	○
北海道開発局 稚内開発建設部	築港課	港湾計画官	早川 篤	○
NPO法人 北海道みなとの文化振興機構		事務局長	吉原 吉蔵	○
		事務局次長	千葉 仁	○
社団法人 寒地港湾技術研究センター		調査研究部次長	若森 宣人	○
		調査研究部研究員	松下 圭吾	○

## 北海道みなとオアシス活性化協議会の設置について

## 1. 目的

みなとを核とした住民参加型の地域活性化に資する取り組み及びそれらが取り組まれている施設や地区を認定し、「みなとオアシス」として登録することにより、地域の賑わい創出を図っている。北海道においても制度の創設から4年が経過し、登録件数が5港となり、今後、更なる登録件数の増加も見込まれることから、みなとオアシスの相互の情報交換や意見交換の場を求める声が強くなってきている。みなと施設を活用した地域活性化をより促進することから「北海道みなとオアシス活性化協議会」を設置するものである。

## 2. 協議会体制

協議会は、下表に示す「北海道みなとオアシス」の運営協議会員、北海道開発局、本協議会の目的に賛同する団体から構成する。

## 3. 主な取り組み事項

- (1) みなとオアシス相互の情報と意見の交換
- (2) みなとオアシスの振興に関すること
- (3) みなとオアシスのPRに関すること

## 4. スケジュール

- 6月13日に協議会を設立。
- 年2回程度の頻度で開催。

## 5. 北海道みなとオアシス活性化協議会 構成機関

構成機関
みなとオアシス「わっかない」運営協議会
「みなとオアシス網走」運営協議会
「みなとオアシス江差」運営協議会
みなとオアシス「苫小牧」運営協議会
みなとオアシス「れぶん」運営協議会
北海道開発局
NPO法人 北海道みなとの文化振興機構
社団法人 寒地港湾技術研究センター

北海道みなとオアシス活性化協議会 会則

(名称)

第一条 本協議会は、北海道みなとオアシス活性化協議会と称する。(以下「協議会」という。)

(目的)

第二条 本協議会は、みなとオアシスの相互の情報交換や意見交換を行い、みなとオアシスによる更なる地域の賑わいの創出に向けた取り組みを検討することを目的とする。

(事業)

第三条 本協議会は、第二条の目的を達成するため次に掲げる検討を行う。

- 一 みなとオアシス相互の情報と意見の交換
- 二 みなとオアシスの振興に関する取り組み
- 三 みなとオアシスのPR手法に関する取り組み
- 四 その他必要な取り組み

(構成員)

第四条 本協議会は、下記の団体等をもって構成する。

- 一 「北海道みなとオアシス」の運営協議会員。
- 二 北海道開発局。
- 三 本協議会の目的に賛同する団体。

(事務局)

第五条 本協議会の事務局は、国土交通省北海道開発局港湾空港部港湾計画課内に置く。

- 二 事務局は、本協議会の運営に必要な事務を行う。

附則

第一条 この会則は平成二十三年六月十三日より施行する。

### 北海道みなとオアシス

#### みなとオアシスとは

みなとを核とした住民参加型の地域活性化に資する取組み及びそれらが取り組まれる施設や地区を認定し、「北海道みなとオアシス」として登録することにより、地域の賑わい創出を図る

#### 運営主体

みなとオアシスの運営・活用のために住民が設置した地域の協議会等が運営主体となります。  
なお、登録申請者は港湾管理者となります。

#### 主な登録要件

みなとオアシスに登録するための主な要件は以下のとおりです。

- 施設  
みなとを核とした交流スペース、トイレ及び駐車場
- サービスの提供  
地域住民や観光客などに対し、交流・レクリエーションに関するサービス及び、情報提供等その他のサービスを提供することが可能であること  
※既存の取り組みを活用することが可能です。
- 運営体制  
地域の連携が図られた住民参加型の運営体制であること

#### 主な支援施策

- 「みなとオアシス」シンボルマーク使用の許可
- 全国への情報発信支援



#### 登録状況

オアシス名称	仮登録	登録
みなとオアシス「わっかない」	H19. 4	H19. 11
みなとオアシス網走	H20. 12	H22. 3
みなとオアシス江差	H21. 7	H22. 6
みなとオアシス苫小牧	H22. 12	H23. 3
みなとオアシスれぶん（仮称）	H22. 12	H23. 6

(全国登録状況：登録55港、仮登録9港 (H23. 6. 13現在) )

### これまでの取り組み

北海道みなとオアシス位置図



- ・運営協議会員や北海道開発局のHPへの掲載
- ・オアシス関連施設へのみなとオアシスシンボルマークの掲示
- ・国道の案内看板への掲示
- ・運営協議会による各種イベントでの広報
- ・みなとオアシス全国協議会の設立（平成21年10月）  
道内からも「みなとオアシスわっかない」が参加

#### 各運営協議会へのアンケート結果(平成23年4月実施)

##### ●広報(情報提供)上の課題

- ・関連団体、開発局のHPによってPRしたいが「みなとオアシス」の認知度が全国的にどの程度浸透しているのか不明。
- ・みなとオアシスパンプやポスターがあれば庁舎や拠点に備え付けたい。

##### ●開発局への要望

- ・みなとオアシスの国道案内板、地図掲載、WEBやメディアを活用したPRを更にお願ひしたい。
- ・個別のみなとオアシスパンプ・ポスター等を作成する場合の手厚い支援制度を設けてほしい。
- ・みなとオアシスを広く地域住民・観光客に周知するため「みなとオアシス」の拠点施設の敷地内に看板を設置してほしい。
- ・他のみなとオアシスの運営方法等の情報提供をしてほしい。



〈みなとオアシスの認知度向上に向けた取り組みの実施〉

## ○取り組み事例

### ●北海道みなとオアシスにぎわいキャンペーン

#### 1. 札幌地下歩行空間におけるポスター展の実施

- ・各みなとオアシスで開催されるイベントを紹介するポスター展を札幌地下歩行空間で実施
- ・実施期間：平成23年7月1日（金）～13日（水）

**北海道みなとオアシスにぎわいキャンペーン**

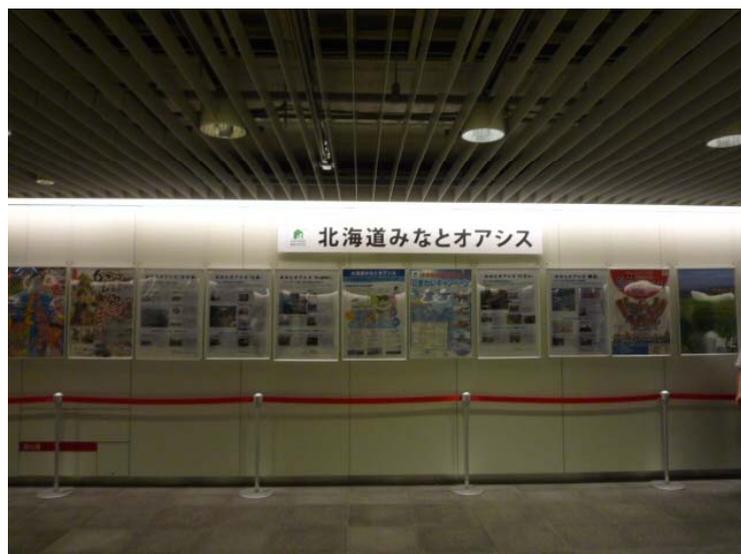
みなとオアシスとは？  
みなとオアシスの魅力は、自然豊かな環境と、住民参加による地域活性化の取り組み「みなとオアシス」を通して、観光し・楽しむ・暮らし・働く・育む・つなぐの5つのキーワードです。

Minato OASIS  
観光 防災 暮らし 働く 育む

北海道みなとオアシスイベントカレンダー

オアシス	イベント名	問合せ先	開催日
みなとオアシス わっかぬい (1)	●みなと祭壇まつり	管内観光振興課	0162-23-4400 H23.6.6-8,7
	●ノーサンロード・カーフェスティバル 2011	管内観光振興課	0162-23-4180 H23.7.10
	●WAAKANA! みなとコンサート	管内観光振興課	0162-24-2020 H23.8.28
	●日本海 VS オホーツク海 グルメバトル	管内観光振興課	0162-24-1216 H23.9.23-25
みなとオアシス 網走 (2)	●みずうみ祭	管内観光振興課	0152-41-3311 H23.7.16
	●おぼしりオホーツク夏まつり	網走商工労働課	0152-43-3031 H23.7.21-24
	●夕市まつり	網走観光振興課	0152-44-6848 H23.7.23-27
みなとオアシス 江差 (3)	●江差かもめ祭まつり	江差観光課	0139-52-4815 H23.7.2-3
	●志11 江差駅前みなとイカ祭り	コンベンション課	0139-52-4815 H23.7.1
	●江差駅前大祭	江差観光課	0139-52-4815 H23.8.19-18
みなとオアシス 宮小牧 (4)	●みなとフェスティバル	宮小牧観光課	0146-34-0905 H23.8.5-7
	●水産まつり	水産課	0163-66-1001 H23.7.17
みなとオアシス れぶん (5)	●乳文ふるさとまつり	乳文ふるさとまつり実行委員会	0163-66-1001 H23.8.7-10
	●乳文ふるさとまつり (海鮮まつり・海鮮まつり)	乳文ふるさとまつり実行委員会	0163-66-1001 H23.8.7-10

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部  
〒060-8511 札幌市中央区南2丁5番地27 港湾部1 港湾部1F TEL: 011-709-2311 FAX: 011-709-2147  
ホームページ: <http://www.paid.mhl.go.jp/08/>



#### 2. ポスター展に併せて港湾イメージキャラクターによるチラシ配布

- ・実施時期：平成23年7月2日（土） 13:00～15:00





# 北海道みなとオアシス

# にぎわいキャンペーン

みなとオアシスとは?

みなとの施設や地域と、住民参加による地域振興への取り組みを「みなとオアシス」として認定し、みなとに賑わいや潤いの創出をしようという制度です。



- 安らぎ
- 交流
- 憩い
- 潤い
- 賑わい



## 北海道みなとオアシスイベントカレンダー

オアシス	イベント名	問合せ先	☎	開催日
みなとオアシス わっかない ①	●みなと南極まつり	稚内商工会議所	0162-23-4400	H23.8.6~8.7
	●ノーザンロード・カーフェスティバル 2011	ノーザンロード・カーイベントクラブ	0162-24-2020	H23.7.10
	●WAKKANAI みなとコンサート	観光局と連携したネットワーク	0162-24-1216	H23.8.28
	●日本海 VS オホーツク海グルメバトル	稚内観光協会	0162-24-1216	H23.9.23~25
みなとオアシス 網走 ②	●みずうみ感謝祭	西網走漁協	0152-61-3311	H23.7.16
	●あばしりオホーツク夏まつり	網走商工会議所	0152-43-3031	H23.7.21~24
	●夕市まつり	網走観光協会	0152-44-5849	H23.7.23~27
みなとオアシス 江差 ③	●活!! 江差海鮮みなとイカ刺し祭り	江差観光		H23.7.1
	●江差かもめ島まつり	コンベンション	0139-52-4815	H23.7.2~3
	●江差姥大神宮渡御祭	協会事務局		H23.8.9(両宮祭) H23.8.10~11(本祭)
	●第49回江差追分全国大会	江差追分会事務局	0139-52-5555	H23.9.16~18
みなとオアシス 苫小牧 ④	●みなとフェスティバル (苫小牧港まつり)	みなとオアシス 苫小牧事務局	0144-34-5905	H23.8.5~7
みなとオアシス れぶん ⑤	●水産まつり	水産まつり実行委員会	0163-86-1001	H23.7.17
	●礼文ふるさとまつり (湖畔まつり・海峡まつり)	礼文ふるさとまつり実行委員会	0163-86-1001	H23.8.7~10



お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎14F TEL.011-709-2311 FAX.011-709-2147  
e-mail:kouwan@hkd.mlit.go.jp (海とみなとの相談窓口)  
ホームページ: <http://www.hkd.mlit.go.jp/08.html>



## みなとオアシス「わっかない」

～マチとみなとの連携・観光交流拠点を目指して～

みなとオアシス「わっかない」は、日本の最北端である稚内港に位置する海と賑わいの交流空間です。国際・国内フェリーターミナルをはじめとしたオアシス内の各施設において、訪れる市民や観光客に対し各種イベントなどの情報提供を行っています。

## みなとオアシス「網走」

～中心市街と連携した水辺空間～

みなとオアシス「網走」では、海と川や知床連山の景観などの豊かな自然環境や、歴史・文化を活用した賑わい創出等により、「みなと観光交流センター」や、その周辺に整備される親水プロムナード等のウォーターフロント空間を活かした交流の場を提供しています。

## みなとオアシス「江差」

～水辺と親しむ交流拠点の形成～

「みなとオアシス江差」は、北海道南部の渡島半島の日本海側にある江差港に位置しており、訪れる市民や観光客に、かもめ島をはじめとする美しい自然景観と町の歴史を活かした交流空間を提供しています。

## みなとオアシス「苫小牧」

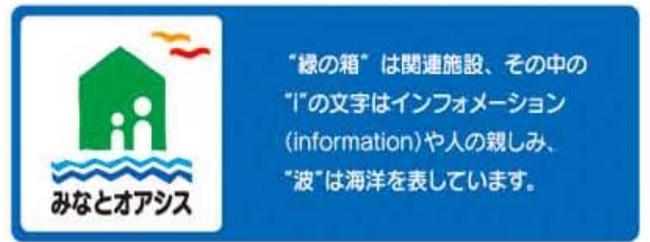
～旅・遊・食の調和による賑わい拠点～

みなとオアシス苫小牧では、北海道の海の玄関口「開発埠頭フェリーターミナル」、市民の憩いの場「キラキラ公園」、そして苫小牧の新鮮な魚貝等が勢ぞろいの「ぷらっとみなと市場」といった3つの特色が違うエリア間の調和を図り、賑わいと交流の場を提供しています。

## みなとオアシス「れぶん」

～癒しと交流の空間形成を目指して～

礼文町の海の玄関口「香深港フェリーターミナル」や、憩いの場「礼文町総合交流促進施設」等のオアシスエリア内の各施設がお互いに情報発信を展開することにより、みなとを訪れる人に癒しと交流の場を提供しています。



みなとオアシスのある港湾などでは、北海道の経済や産業のために欠かせない役割を担っており、豊かで活力のある北海道のために港湾機能の充実を図っています。



お役立ち  
コラム

ほぼ全国で生さんまの刺身が食べられるようになった理由

保鲜技術の進歩！

獲った鮮魚を漁船上で箱詰め、または減菌海水などで鮮度を保持します。

輸送システムの確立！

北海道から関東・関西へ3日目に配達できるトラック+フェリーの輸送システムが確立されました。

3日配達を実現！

1990年代後半、小樽港、苫小牧港に高速フェリーが就航し、3日目配達を実現となりました。



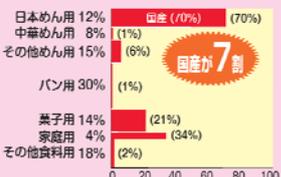
北海道で生産された新聞用のロール紙や牛乳用の原料の生乳、小麦やじゃがいも等が船によって本州に運ばれています。

お役立ち  
コラム

小麦 日本のめんの70%は国産

例えば、うどんなどの日本めんの70%は国産の小麦でつくられています。国産のうち60%は北海道産です。

食料用小麦の用途別消費率、自給率



北海道のみなとには、多くの大型クルーズ船が寄港しています。クルーズ船が寄港するとみなとまちは多くの観光客で賑わいます。

礼文島香深港に寄港したクルーズ船  
(背後の山は利尻富士)



## 2. 道の駅ネットワークを活用したみなとオアシスの周知

- ・道の駅に各みなとオアシスで開催される夏のイベントを紹介したポスターを掲示し、みなとオアシスを広く周知するPR活動を実施。

- ・実施期間：平成23年7月～9月

### ・掲示予定箇所

札幌開発建設部管内：16箇所（管内全て）

小樽開発建設部管内：13箇所（管内全て）

函館開発建設部管内：11箇所（管内全て）

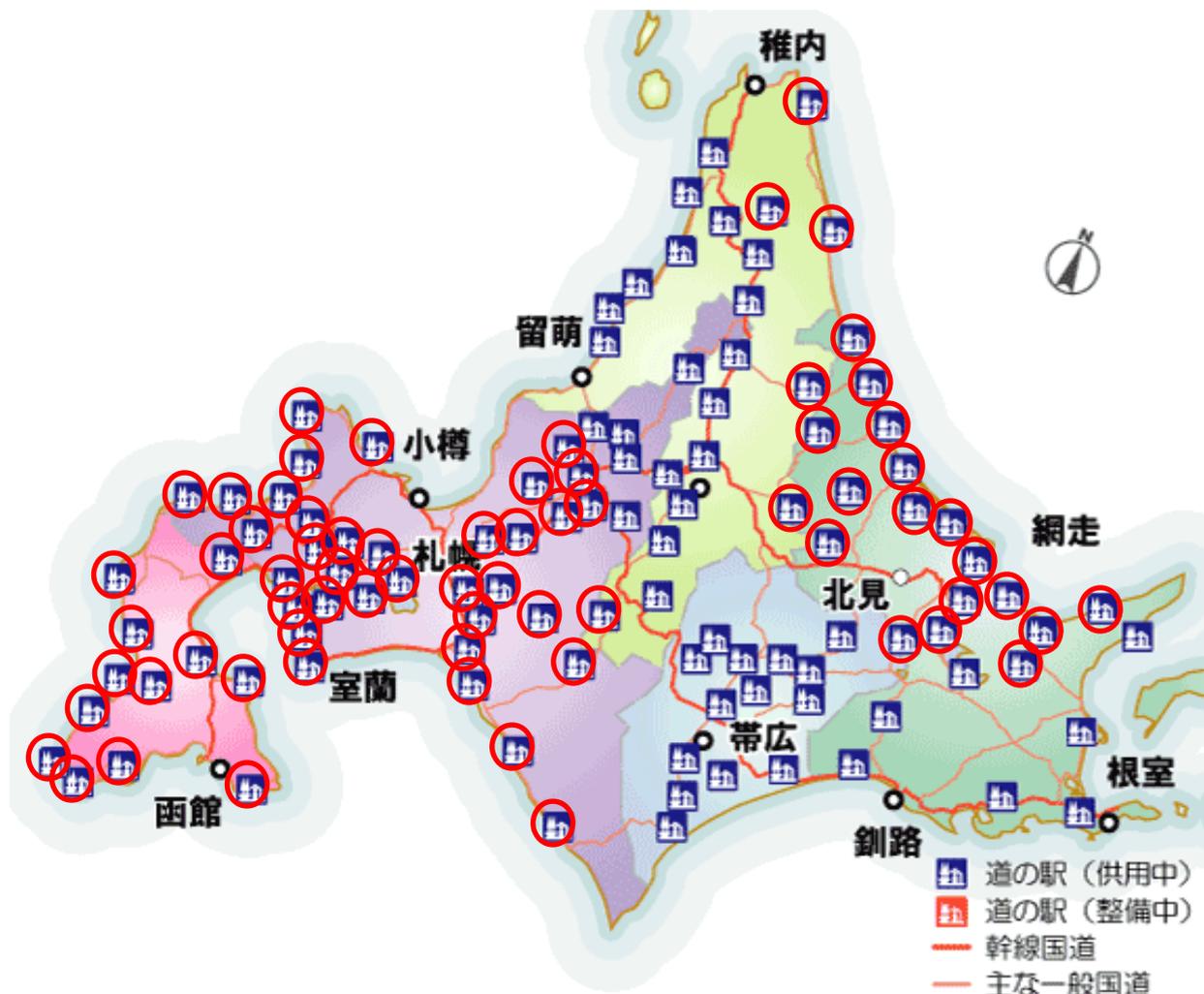
室蘭開発建設部管内：12箇所（管内全て）

網走開発建設部管内：19箇所（管内全て）

稚内開発建設部管内：3箇所（管内全て）

東日本高速道路(株)：輪厚SA(上下)、金山SA(上下)

計：78箇所（北海道の道の駅：112箇所（平成23年3月現在））



### 3. みなとオアシスSea級グルメ全国大会への参加

- ・平成23年7月30,31日に広島県三原市で開催される「第一回みなとオアシスSea級グルメ全国大会」に北海道のみなとオアシスからグルメ大会に「みなとオアシス網走」、「みなとオアシス苫小牧」が、物販で「みなとオアシスわっかない」が参加
- ・北海道のみなとオアシスを全国にPR。

#### ※みなとオアシスSea級グルメとは？

みなとオアシスが位置する地元のみなとで水揚げされた海産物や、みなとオアシスの背後地域で地産地消される名産品を用いてつくられ、「ぜひ多くの人に味わってほしい」と自信を持ってお勧めできる飲食物を全国各地のみなとオアシスから募集。飲食物には何らかのSea“の要素を含むことが必要。

- ・全国から18のオアシスが出店(グルメ出店:15、物販出店:3)

### Sea級グルメの参加一覧

	都道府県名	参加オアシス	登録港	Sea級グルメ
1	北海道	みなとオアシス網走	網走港	益々！マスバーガー
2	北海道	みなとオアシス苫小牧	苫小牧港	ほっきカレー
3	山形県	みなとオアシス酒田	酒田港	酒田旬彩焼き
4	愛知県	みなとオアシスがまごおり	三河港	ギョロックドック
5	島根県	風待ち西郷・みなとオアシス	西郷港	サザエの混ぜご飯
6	岡山県	みなとオアシス宇野	宇野港	たまの温玉めし
7	広島県	みなとオアシス瀬戸田	瀬戸田港	たこチヂミ
8	広島県	みなとオアシス三原	尾道糸崎港(三原)	たこだんご
9	広島県	みなとオアシスただのうみ	忠海港	たこ天
10	広島県	みなとオアシスたけはら	竹原港	えびちゃんバーガー
11	広島県	みなとオアシス蒲刈	蒲刈港	藻塩めん
12	山口県	みなとオアシス三田尻	三田尻中関港	防府西京鯉の炊き込みカバ焼き丼
13	愛媛県	八幡浜港みなとオアシス	八幡浜港	じゃこカツ
14	高知県	みなとオアシス宿毛	宿毛湾港	きびなごのおから寿司
15	佐賀県	みなとオアシスからつ	唐津港	いかしゅうまい

	都道府県名	参加オアシス	登録港	物販
1	北海道	みなとオアシスわっかない	稚内港	雲丹の塩づけ、利尻だし昆布、ほたて貝柱
2	広島県	サイクリングポートみなとオアシス尾道	尾道糸崎港(尾道)	尾道ラーメン食べくらベセットほか
3	大分県	みなとオアシスかんたん港園	大分港	豊後からあげ

## ○討論

### ・みなとオアシス活性化に向けた取り組み

#### ●みなとオアシスの認知度向上に向けた取り組み

- ・「みなとオアシス」や「個別地域でオアシスエリア」が知られていない。
- ・個別のオアシスでは、地域内での認知度の向上しか図れない。  
→認知度の向上に向け、今後どのような取り組みをやるべきか。
- オアシス間の連携強化に向け、今後どのような取り組みをやるべきか。

#### ●地域の活性化に向けた取り組み

- ・みなとオアシスは、みなとの場で各団体が実施している活動をより地域のにぎわいに結びつけるために各団体が情報交換・交流・連携を行うプラットフォームとしての役割を担っていくことを期待している  
→運営協議会において効果的な情報交換・交流・連携の場となっているか。

## 【 参 考 】

- 観光関係者を招いた勉強会の開催
  - ・市民団体による講演(東北みなとオアシス活性化研究会)
  - ・みなとまちづくりマイスターによる講演  
(中国みなとオアシス協議会)
  - ・中国人ジャーナリストによる講演(みなとオアシス全国協議会)
  
- 利用可能な補助制度
  - ・北海道みなとの文化振興機構の助成制度【参考資料1】
  
  - ・北海道ポートエンジニアリング協会【参考資料2】
  
  - ・未来のみなとづくり助成制度【参考資料3】

## 【参考資料1】

### 平成23年度NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成事業募集要領

#### (1) 応募要件

道内でみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等において、平成23年度に実施予定の本助成を希望する事業とする。

#### (2) 募集期間および応募方法

募集期間は平成23年4月1日（金）から5月10日（火）までとし、助成を希望する団体は必要事項を記入の上、別途応募様式を提出する。

#### (3) 助成金額

1件当たり助成金額は15万円を限度とし、みなとの活性化の効果の大きいと考えられる数件を選定する。

#### (4) 評価審査委員会の設置

応募された助成希望の事業について、審査を行う機関として設置する。

評価審査委員会は当NPO法人理事長の指名により構成する。

評価審査委員会の事務は当NPO法人事務局が行う。

評価審査委員会は平成23年5月中旬に開催し、助成を希望する事業について審査し、採択する。

審査結果については、5月下旬に郵送で通知する。また、当NPO法人のホームページ上で公表する。

#### (5) 助成金の支払い

助成金については、助成を受ける団体等に対し、イベント等の開催の2週間前までに支払う。

#### (6) 助成を受ける団体の義務

活動を実施するにあたって、「NPO 北海道みなとの文化振興機構助成」をうけている旨を明示すること。

## 【参考資料2】

### 北海道ポートエンジニアリング協会 「みなとまちづくり活動助成」申請要綱

#### 1. 趣旨

北海道ポートエンジニアリング協会では、地域自らの発想による、みなとまちづくりを支援するため、港湾・漁港・海岸等を活動拠点とする任意団体等が行う、みなとまちづくり活動や地域活性化に資する活動に対し助成を行うものです。

#### 2. 申請の条件

##### 1) 助成対象者

助成対象者は、港や海辺を活動の拠点とする特定非営利活動法人、もしくは、それに準じた実績を有する任意団体等とします。

##### 2) 助成対象活動

(1) 港湾・漁港・海岸等を活動拠点とする下記のいずれかに該当する活動に対し助成を行います。

- ・地域の発展や活性化に貢献する活動
- ・地域の特性を生かす活動
- ・他の地域、民間活動のモデルとなる活動

#### 3. 助成額及び助成団体数の限度

助成額及び助成団体は、1団体1件当たり10万円及び4団体を限度として助成を行います。

#### 4. 申請方法

別紙、所定の申請書に必要事項を記入のうえ提出(郵送可)してください。

#### 5. 申請の締め切り

申請書の締め切りは当該年、先着4団体が決定した時とします。

#### 6. 選考方法

- (1) 申請のあった活動内容は、その都度協会では審査し選考します。
- (2) 採否並びに助成額は当協会が決定し、申請者に通知します。

#### 7. 助成を受ける団体の義務

- (1) 助成対象の活動が完了したら遅滞なく完了報告書を提出するものとします。

## 【参考資料3】

### 平成23年 未来のみなとづくり助成応募要項

一般財団法人みなと総合研究財団(以下「みなと総研」という。)では、港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究を行う大学や研究機関、特定非営利活動法人、また港や海辺を活動の拠点とする特定非営利活動法人や任意団体等の活動を支援するための助成を行います。皆様方からの多数の応募をお待ちしております。

応募に当たっては、本応募要領及び助成申請書記入要領を熟読の上、申請して下さい。

#### 1. 趣旨

港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究、環境教育等港や海辺の活動について、その費用の一部を助成することにより、環境と調和した港湾・海域の形成を図るための助成を行います。

#### 2. 助成対象者

助成対象者は、港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究を行う大学や研究機関、特定非営利活動法人、また港や海辺を活動拠点とする特定非営利活動法人もしくは、それに準じた任意団体等とします。

なお、以下のものは助成の対象となりません。

- (1) 営利を目的として活動する法人等
- (2) 他の団体への助成を行う法人等
- (3) 宗教的又は政治的宣伝意図を有して活動する法人等
- (4) その他、審査委員会が不相当と認めた活動を行う法人等

また、2つ以上の団体が共催で行う事業については、その共催する団体のうちの1つの団体に限り助成対象とします。

#### 3. 助成対象事業種目

- ① 調査研究：割愛
- ② 港や海辺の活動

港や海辺の活動の拠点とする下記の活動に対し助成を行います。

- (1) 環境教育活動
- (2) 環境保全・再生活動
- (3) 自然体験活動

#### 4. 助成対象期間

- (1) 助成対象期間は原則1年間としますが、最大3年間まで延長できます。
- (2) 平成23年度は、平成23年7月から平成24年2月末までの期間に実施する活動を対象とします。

## 5. 助成金額及び助成対象費目

### ①調査研究：割愛

### ②海辺活動

#### (1)助成金額

下記8. の義務を実施して頂くことを条件に、1活動あたり20万円を限度に助成金を交付します。なお、助成対象期間あたり1活動／1団体とします。

#### (2)助成対象費目

上記3. の活動に必要な器具・材料の購入費(賃料を含む)、人件費(謝金等)、資料・印刷費、通信・運搬費、会議費、消耗品費、保険料とします。

## 6. 応募方法等

### (1)応募方法

みなと総研所定の助成申請書[様式1-(1)~(5)]に必要な事項を記入し、必要な資料を添付して下記13. の提出先へ送付してください。(郵送のみ。メール、ファックスは不可)

(申請書は、みなと総研のホームページ(<http://www.wave.or.jp/>)からダウンロードできます。)

なお、応募に必要な費用はすべて申請者の負担とします。また、申請書類は、みなと総研がこれを基に助成申請書を公表・活用することを妨げないものとします。提出された資料は助成金の交付の如何に関わらず返却しないものとします。

### (2)応募締め切り

平成23年8月5日(金) (必着)

### (3)提出物

#### ①助成申請書(様式1-(1)~(5))

団体もしくは代表者の押印した印刷物を電子データ(CD-R)を必ず提出して下さい。

#### ②添付資料

1. 定款(任意団体はこれに準ずる規約)
2. 役員・幹部名簿
3. 申請者の平成22年度事業報告に関する資料  
※大学の場合、1, 2は不要

#### ③その他参考資料として、下記の資料があった場合には提出して下さい。

1. 申請団体の活動状況等が分かる資料(会報、広報誌等)
2. 助成事業の活動内容に関する補足資料(企画書、開催案内、チラシ、位置図等)

## 7. 助成の決定

### (1) 審査・決定

みなと総研内に設置する未来のみなとづくり助成審査委員会(以下、「審査委員会」という)により書類等の審査を経て決定します。必要があると認められる場合は、審査に先立って調査(ヒアリング等)を行うことがあります。なお、助成の決定にあたり、審査委員会は必要に応じて助成を受ける団体に対して条件を付することができるものとします。

### (2) 審査結果の通知

審査結果は、平成23年8月下旬に申請者全員へ文書により直接通知します。

### (3) 請書の提出及び辞退

助成を受ける団体は、前項の規定による助成金交付の決定通知を受け、これを承諾した場合、10日以内にみなと総研に請書[様式2-(1)]を提出してください。

なお、助成決定後に活動の遂行が困難な特別な事情が生じた場合は、その理由を附し速やかにみなと総研に辞退届けを提出してください。[様式は随意]

## 8. 助成を受ける団体の義務

助成を受ける団体は、以下の事項を実施することを義務とします。

### (1): 割愛

(2) 助成事業を実施するにあたって、「未来のみなとづくり助成(港・海辺活動・調査研究助成)」を受けている旨を明示すること。(ポスターやチラシ、横断幕等に明記すること)

(3) 助成事業は助成対象期間内に完成すること。

(4) 助成事業が完了したときは、未来のみなとづくり助成(港・海辺活動・調査研究助成)制度実施報告書[様式2-(2)~(5)]を作成し、30日以内にみなと総研に提出すること。なお、みなと総研は、必要に応じて助成事業の遂行状況、その他助成金の執行に関し必要な事項について報告を求めることができるものとします。また、提出された実施報告書等については、みなと総研が公表・活用することを妨げないものとします。

### (5)~(7): 割愛

## 9~14: 割愛

## 15. 提出先及び問い合わせ先

一般財団法人みなと総合研究財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目1番10号

第2虎の門電気ビルディング4階

TEL: 03-5408-8291 FAX: 03-5408-8741

URL: <http://www.wave.or.jp/>

E-mail: [josei@wave.or.jp](mailto:josei@wave.or.jp)

「未来のみなとづくり助成(港・海辺活動／調査研究助成)」 担当: 鈴木・西土井